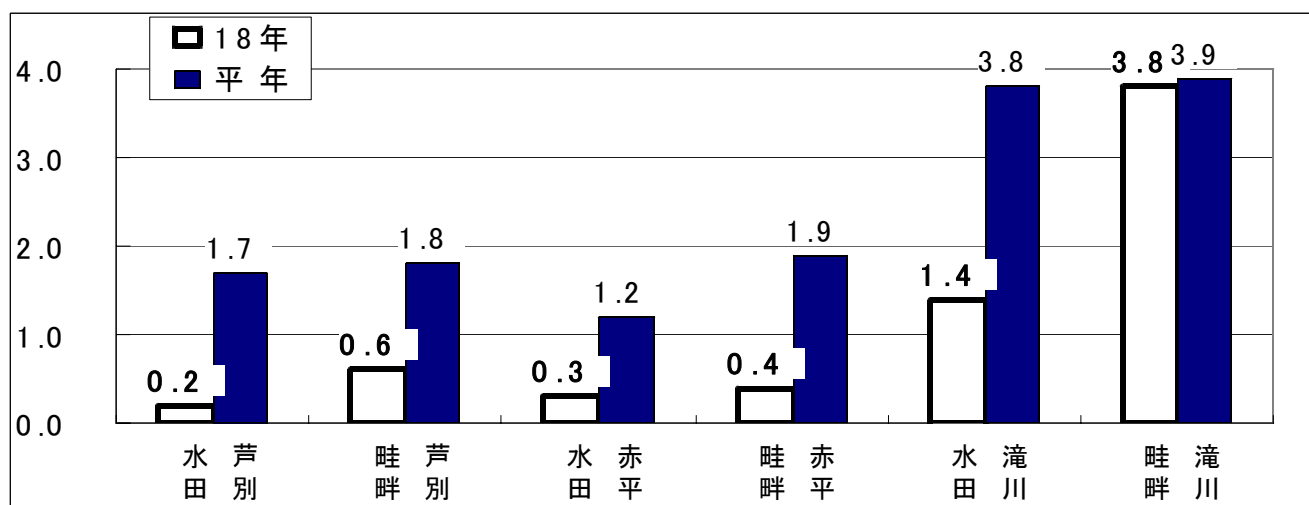


カメムシの発生は一部で多い。 いもち病は要注意

J A たきかわ 営農部
空知農業改良普及センター-中空知支所滝川分室

■カメムシの発生状況・・・やや少ない(20回振り当たり平均頭数)



カメムシの発生は、やや少ないものの、一部ほ場では水田内で3頭捕獲されました。カメムシの発生量・成育状況（若齢幼虫～成虫までバラツキが大きい）が地域間、ほ場間で差が大きい状況です。各自で発生予察を行いながら、適期・適量防除と隣接地の環境清掃も含めた対策が必要です。

■葉いもちに要注意

各自ほ場の観察をし、葉いもちを確認したら、直ちに防除を実施。

■現時点で葉いもちが発生していない場合の防除時期

第1回目の防除（いもち・カメムシ）は、出穂期～揃い

第2回目の防除（いもち・カメムシ）は、その後7～10日後

第3回目の防除（カメムシ）は、その後7～10日後

■今後の水管理

ほ場全体で止葉が7割揃ったら、直ちに中干しを実施します。ほ場の干割れが入らないよう、間断かんがいを実施。